

第3回木更津市庁舎整備検討委員会 議事概要

1. 日時 令和元年10月29日(火) 午後2時00分～午後3時30分
 2. 場所 木更津市役所 駅前庁舎8階 会議室1
 3. 委員 北野委員長、鈴木副委員長、八木委員、湯谷委員、北村委員、江崎委員、滝口委員、森委員、渋江委員
 4. 傍聴人 8名
 5. 委員長挨拶
 6. 議題
 - (1) 庁舎候補地について
 - (2) 基本構想・基本計画の見直しについて
10. 議事録(要旨)
- ・議題
 - (1) 庁舎候補地について
 - (2) 基本構想・基本計画の見直しについて

事務局説明

(1) 庁舎候補地について

前回の会議で、公共施設再配置基礎調査業務(中間報告)の結果を受け、市の方針として庁舎候補地を示したが、そこに至った経緯、市の他計画との関連などの詳細を説明し、ご理解いただく必要があると考え、公共施設再配置計画、中心市街地活性化計画基本計画等の概要説明を行った。

(2) 基本構想・基本計画の見直しについて

庁舎候補地が示されたことに基づき、平成25年度に策定した基本構想の表紙と目次の改訂版を示した。

・主な意見及び質疑応答

(1) 庁舎候補地について

○委員

将来の子供たちのこと考え、まちのシンボルとしても庁舎はきちんと建てるべきだと思います。建設場所は、防災上の観点から、消防署、警察署がすぐ近くにある旧庁舎の跡地がベストと考えます。

○委員

この委員会は庁舎をどこに建てるかが最初の問題ではありませんでしたか。

○事務局

庁舎の場所は重要で、建てる場所によって機能的は大きく変わりますが、場所については他で総合的に判断したものを市の方針として示させていただき、その中で皆さんに規模、機能などについてご検討いただきたいと思います。

諮問書では、新庁舎に必要な諸機能、規模、配置構造などについて検討していただくとなっており、候補地は検討対象ではありません。

○委員長

当委員会への諮問には、基本構想及び基本計画の見直しに関するということということが明確に謳われており、具体的な機能、事業手法などを検討することとなっております。

事務局が候補地を示し、その中で構想・計画の見直しを議論するのが、当委員会の趣旨だと承っています。

○委員

建設場所については、駅前庁舎及び朝日庁舎への移転による利用状況の変化を整理し、利便性や波及効果などの観点から検討を行った結果、公共施設再配置基礎調査の中間報告で、市の指針が示されたものだと理解しています。

○委員

公共施設再配置計画を作った中で、財源不足が生じてくる課題があるため、庁舎については、既存の民間施設の貸借を延長すると理解したのですが。

○事務局

あと 5 年ぐらいしか賃貸借の契約が残っていませんので、その間に、駅周辺と朝日周辺において、民間が新たに建てた施設があれば、それを借ります。

しかし、そういった施設がなければ、場合によって、契約延長も視野に入れていきます。相手方の都合もあることですので、具体的な交渉等はまだ行っていません。

いろいろな状況、動向を見ながら、進めたいと思っております。

○委員

新市庁舎が持つべき機能や役割を整理した結果、再配置計画が実現できないとなった場合は、その計画を見直すのか、或いは、この計画を前提にして、機能や役割を検討していくのですか。

○事務局

後者でございます。

○委員

今回大きな災害があったことから、庁舎の停電対策として長期の自家用発電対応の機能を検討していく必要があると考えますが。

○事務局

現在、朝日庁舎と駅前庁舎に自家用発電設備がありますが、災害時の市民サービス継続のために、機能等の拡充を図っていかねばならないと考えています。

賃借を前提にして建設していただく際には、これから検討していただく基本構想に沿った内容で、市の施設については、十分な災害対応設備があることを前提にし、貸していただくという交渉を行っていくことになります。

○委員

現在の庁舎で使用している設備を更新等する場合、その費用はオーナーと市のどちらが負担するのでしょうか。

○事務局

賃借料が変わってくると思いますが、条件を付して借りるため、オーナーが負担するものだと考えています。

○委員長

当委員会で議論すべきことは、災害対策等も含め、市庁舎としてどのような機能が必要かということで、庁舎を賃借するのであれば、要求した性能のものを使用させていただくということになると思います。

平成 25 年に策定した計画を見直す中で、持続的に、より良い方向に向かうべき市庁舎の機能、内容等が議論できればというのが、当委員会の立ち位置かと思っています。

今後、人口が減少していく中で、子供たちの未来を考えるとということはずごく大事なキーワードであり、町の持続性を考えるには、公共施設再配置と中心市街地活性化、いわゆる街をコンパクトに収め、行政支出負担を小さくしていくことは大変大事なことです。

そのような中で、将来を見据えた庁舎機能のあり方というものを、ぜひこの場で提案ができれば、木更津市の新しい市庁舎が、近隣市、県また全国に含めて発信できるのではないかなというふうに思っています。

○委員

現在の駅前庁舎の防災室が狭いので、災害時の対応等を考慮し、スパークルシティ木更津の 3 階と 4 階の空きフロアを借りて有効利用してはいかがでしょうか。

○事務局

今後の庁舎の考え方ですが、スパークルシティ木更津とイオンタウン朝日をずっと借りていくということではありません。

駅前と朝日に新しい建物ができなかった時、建設まで長年かかるとなった時には、結果として契約更新等も考えないといけません。皆様にご審議いただきたいのは、駅前と朝日に新しく建設をしていただいたものを賃借する際の、新しい庁舎の機能等についてです。

現在の施設をずっと延長で借りていくということは、前提にしておりません。

○委員長

防災の機能や、今足りていない機能というものに関しては、当委員会で議論し、庁舎としての必要な機能を考えていけばいいと思います。

市が目指すべき新しい方向性に沿った、市民サービスの拠点としての機能を、ここで議論していきますが、それには、今の庁舎をこのまま使っていくということではなく、目指すべき方向性に沿った建物を賃借していくというのが前提であるという認識でよろしいですね。

(2) 基本構想・基本計画の見直しについて

○委員

目次で庁舎等としている理由は何でしょうか。

○事務局。

現在の庁舎整備基本構想に庁舎等と記載があったので、改訂版もそのままにしました。次回、基本構想の内容等詳細を示す際には、等を除きたいと思います。

○委員

今後、庁舎の機能等を検討していく中で、市役所以外のものも含めて検討する必要があるのでしょうか。

○事務局

現在の基本構想でも市民の交流、情報交換が図れる庁舎というのをコンセプトに掲げていますので、複合施設として市民交流スペースなどの役割も持たせた方がいいとなれば、ご意見いただきたいと思います。

○委員長

これから先を見据えた市庁舎ですので、当然そういった議論は必要となり、長い目で見るとそちらの機能の方が、今後、重要になってくるかもしれません。

本日いただいた多くのご意見を踏まえ、次回の準備をお願いいたします。

【事務局より変更したスケジュール表を配布し、説明。】

○委員

変更したスケジュールでは、答申の中にはパブリックコメントの内容は反映されないということになるのですか。

○事務局

答申をいただいたものを、委員会の案としてパブリックコメントにかけるということになりますが、パブリックコメントの結果は反映させていただきます。

1 1. その他

次回以降の日程

- ・第4回委員会は11月18日（月）午後2時より開催予定。